

令和6年度 事業報告

— 神戸事務所 —

I 里親家庭及び養育希望者のための研修とレクリエーション

養育希望者のための研修

里親や養親を希望する人たちのために令和6年度は次のような研修を行った。

■里親認定のための研修

兵庫県、神戸市、明石市から委託を受け、基礎研修6回、登録前研修は年間を通して4回開催することができた。

(1) 養育里親・養子縁組里親基礎研修

基礎研修は、DVDやパワーポイントを活用し、里親制度の基本的な意味と役割等について解説し、グループ討議などを行った。平成29年度より養子縁組を希望する人たちにも研修の受講が義務づけられている。なお、但馬地域の受講者には6月と8月に2回、サテライト会場を設けて研修を行った。

	日程	会場		兵庫県	神戸市	明石市	合計
第1回	4月13日(土)	あすてっふ KOBE セミナー室1	講義	22	4	2	28
	5月9日(木)	<神戸少年の町>	実習	19	4	3	26
第2回	6月25日(火)	神戸市総合福祉センター第5会議室 &サテライト会場(朝来市)	講義	18	10	3	31
	7月9日(火)	<神戸真生塾>	実習	15	9	1	25
第3回	8月24日(土)	神戸市総合福祉センター第5会議室 &サテライト会場(朝来市)	講義	20	10	4	34
	9月13日(金)	<神戸少年の町>	実習	23	11	4	38
第4回	10月8日(火)	神戸市総合福祉センター第5会議室	講義	19	4	0	23
	10月29日(火)	<神戸真生塾>	実習	13	4	0	17
第5回	1月25日(土)	神戸市総合福祉センター第5会議室	講義	38	11	1	50
	2月12日(水)	<神戸少年の町>	実習	25	7	1	33
第6回	2月19日(水)	ウィズあかし 学習室801	講義	12	4	1	17
	3月18日(火)	<神戸真生塾>	実習	22	8	1	31
	(延べ人数) 合計			246	86	21	353

*サテライト会場は朝来市のたじま里親支援センターまんまるで実施

(2) 養育里親・養子縁組里親登録前研修

平成29年4月より養子縁組里親登録希望者にも研修の受講が義務づけられたため、研修の2日目に1時間余りの養子縁組に関する講義「養子養育と養子縁組」を行い107人が受講した。

	日程	会場		兵庫県	神戸市	明石市	計
第1回	5月25日(土)	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	講義	45	8	8	61
	5月26日(日)		講義	45	7	8	60
	5月26日(日)		養子	31	5	4	40
	5月～7月	施設実習	実習	24	4	4	32
第2回	9月22日(日)	姫路市市民会館 第6会議室	講義	36	20	2	58
	9月23日(月祝)		講義	36	21	2	59
	9月23日(月祝)		養子	24	16	2	42
	7月～9月	施設実習	実習	44	4	4	52
第3回	11月29日(金)	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	講義	18	6	2	26
	11月30日(土)		講義	18	6	2	26
	11月30日(土)		養子	8	3	2	13
	11月～12月	施設実習	実習	34	18	2	54
第4回	3月13日(木)	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	講義	21	2	0	23
	3月14日(金)		講義	21	2	0	23
	3月14日(金)		養子	11	1	0	12
	1月～3月	施設実習	実習	21	7	0	28
(延べ人数) 合 計				437	130	42	609
(うち養子縁組研修)			計	74	25	8	107
(うち施設実習)			計	123	33	10	166

※「養子」は養子縁組里親登録希望者のための講義

■養子縁組を希望する人のための研修

・養子を育てたい人のための講座

この講座では「子どものための養子縁組」を理解していただくことを基本にして講義しており、今年度は、神戸、宝塚、姫路で各1回、計3回開催した。令和6年度は3会場とも1日のプログラムとし、午前中はドキュメンタリーDVDを見てグループ討議し、午後は養親の子育て体験談を中心に、小グループに分かれて話し合いの時間をもった。兵庫県、神戸市、明石市に於いては、今年度も養子縁組里親の登録を希望する人はこの講座を受講することによって登録前研修、および更新研修の約1時間の養子縁組に関する講義に替えることができることになっている。受講者は26家庭44人。受講者が前年度よりかなり減少しているので、広報等の方法を検討する必要がある。

	日 時	場 所	人
神戸	7 月 13 日 (土) 10 時 20 分～16 時 30 分	神戸市総合福祉センター 第 5 会議室	27
		家庭数	15
宝塚	10 月 26 日 (土) 10 時 20 分～16 時 30 分	宝塚市立男女共同参画センターエル 学習交流室 1	8
		家庭数	5
姫路	令和 7 年 3 月 1 日 (土) 10 時 20 分～16 時 30 分	姫路市国際交流センター セミナー室 A	9
		家庭数	6
合計 (人)			44
家庭数			26

プログラム

- 第1部** ドキュメンタリーDVDの視聴とグループ討議
 パワーポイントを使って里親・養親を求める子どもたちの現況の解説
- 第2部** 養親の子育て体験談
 養親子関係を築くために考えておきたいこと
 （グループ討議）
 養子を迎えるための手続き・養子制度の説明他

里親家庭のための研修と支援

（１）養育里親更新研修

登録里親の5年毎の更新研修が平成25年度より行われるようになり、令和6年度は以下のように実施し101人が受講。養子縁組研修受講者は40人であった。なお、実習の必要な里親15人に施設実習を行った。

	日程	場 所		兵庫県	神戸市	明石市	計(人)
	5月～6月	施設実習	実習	3	2	0	5
第1回	6月9日(日)	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	講義	22	21	4	47
	6月9日(日)		養子	14	8	0	22
	7月～9月	施設実習	実習	2	2		4
第2回	9月7日(土)	姫路市市民会館 第2会議室	講義	22	6	3	31
	9月7日(土)		養子	9	2	0	11
	10月～12月	施設実習	実習	3	0	0	3
第3回	1月23日(木)	宝塚市男女共同 参画センターエル 学習交流室1AB	講義	16	6	1	23
	1月23日(木)		養子	7	0	0	7
	1月～3月	施設実習	実習	1	2	0	3
合計			講義	60	33	8	101
			養子	30	10	0	40
			実習	9	6	0	15

※「養子」は養子縁組里親登録希望者のための講義

（２）未委託里親トレーニング研修

兵庫県から委託を受け、今年度も過去5年間に子どもの受託がない登録里親を対象に次のような研修を2回実施した。未委託里親は増加しているが、研修受講者は少なくなっている。

研修テーマ	「令和6年度 里親のための養育スキルアップ講座」1回目
日 時	令和6年11月10日（日）13:30～16:30
場 所	神戸市立総合福祉センター 第5会議室
プログラム	<13時30分～15時05分> 「子どものニーズにこたえる里親になるとは」 ～それぞれの里親の経験から学ぼう I. 3組の里親のリレートーク 週末里親、養子縁組里親、養育里親からお話

	<p><15時15分～16時15分> Ⅱ. 演習 「こどものニーズと、それを里親がどう応えたか？」を考えてみましょう。 <16時15分～16時30分> 今後に向けて（まとめ）</p>
参加人数	15人



研修テーマ	「令和6年度 里親のための養育スキルアップ講座」2回目
日時	令和7年3月23日（日）13:30～16:30
場所	姫路市総合福祉会館 第1会議室
プログラム	<p><13時30分～15時30分> Ⅰ. 講演「子どもの特性を理解して楽しく発達を支援できる里親になろう」 講師：丸田 千津氏（作業療法士・tomon教室代表）</p> <p><15時40分～16時10分> Ⅱ. 演習「こどもと楽しく関わるヒント」 全体で振り返りの話し合い</p> <p><16時15分～16時30分> 今後に向けて（まとめ）</p>
参加人数	10人



（３）専門里親研修

令和6年度に兵庫県5人、神戸市2人の計7人の里親の専門里親養育実習を次のようなプログラムで2月2日～3月21日に実施した。

<内容>

日程	実習場所	プログラム
1日間	児童心理治療施設 清水が丘学園	11:00～14:30 ① オリエンテーション ② 施設の説明と見学 ③ 講義「愛着に課題をもつ子どもへの支援」
4日間 (うち1泊の宿泊研修含む)	児童養護施設	・児童養護施設の機能 ・被虐待児への日常生活における援助方法 ・被虐待児の家庭復帰にむけた援助 ・子どもの権利を守る取り組み
1日間	知的障がい児施設	10:00～17:00 知的障がい児施設の機能 知的障がい児の理解と支援
1日間	兵庫県中央 こども家庭センター	13:30～16:30 ① 講義「発達障がい児の理解と援助」 ② 講義「関係機関との連携」 ③ 実習の評価及び意見交換 ④ 一時保護所の見学

(4) 真実告知研修会

令和6年度の真実告知研修会は第1部「養子として育った私の人生」として大人になった養子のY子さんから、半生を振り返って話をしていただき、第2部で「聞いてみよう、教えてもらおう、あの時、あのこと」というテーマでY子さんと1人の養母との対談形式ですすめ、そのあとグループでの話し合いを行った。最後に協会から真実告知の基本的な事柄をまとめて説明。熱気のこもった研修会となった。参加者39人。

日程	場所	里親	支援者	計(人)
令和7年 3月30日(日)午後	神戸市立総合福祉センター 第2会議室他	38	1	39
他 こども 19人、保育ボランティア5人、協会6人				



対談形式でお話を聞きました



グループごとに話し合い

(5) 里親支援プログラム

■「里親サロン」の開催

里親サロンも21年目となり、令和6年度は延べ310人の参加があり、定例会の参加者は増加している。季節ごとのレクリエーション（春と夏の遠足、木工教室、クリスマス会）等の行事は参加者が多く205人となっている。

里親サロン開設月

日程
定例 毎月第3木曜日（1月除く） 9月、11月は土曜日開催 7月、3月は水曜日開催

* 7月：夏休み遠足 8月：木工教室
12月：クリスマス会 3月：春休み遠足



「夏の遠足」須磨海浜公園散策



木工教室の様子

洗濯ばさみを使って
プテラノドンを作成



ハートフルクリスマス

■「年長児里親サロン」の開催

課題のある子どもの養育に特に支援が必要と思われる里親を対象にした「年長児里親サロン」を企画し、実施した。児童心理治療施設の心理士にアドバイザーとして協力していただき、少人数の里親でお互いの課題を出し合い、話し合った。今後も継続して開催する。

日程	会場	里親	アドバイザー	協会	計
令和7年 3月11日(火) 10時～14時	神戸市立総合福祉センター 第5研修室	6	1	2	9

里親家庭の親睦と交流

(1) 第53回里親家庭ファミリーキャンプ(ぼんぼこキャンプ)

コロナで開催できなかったぼんぼこキャンプを5年ぶりに2泊3日の日程で「大阪府立少年自然の家」で開催した。今年も大阪教育大学の学生2人を実習生として受け入れ、ゲームなど工夫をして参加してもらった。また酷暑の中でのキャンプであり、参加者の健康状態には配慮しながら実施したが、夏は避けた方が良いのではという意見もあった。参加者73人。

日程	場所	里親	子ども	ボランティア	協会	計(人)
令和6年 8月2日(金)～8月4日(日) 2泊3日	大阪府立少年自然の家 (大阪府貝塚市)	17	42	8	6	73
グループぼんぼこ: 下見 令和6年7月1日(月) 準備会 令和6年7月14日(日) キャンプ 令和6年8月2日(金)～8月4日(月) 2泊3日 ふりかえり会 令和6年8月17日(土)						



1日目 飯ごう炊飯の夕食



2日目 キャンプファイヤー

(2) 新春初笑い大会

昨年に続いて長田区文化センターで開催した。午前中は、今年は阪神淡路大震災から30年という事もあり、2つのグループに分かれて、新長田商店街の2人の店主さんから震災当時から復興に至るまでのお話を聞き、会場に戻って聞いた話を報告してもらった。午後は4つのグループに分かれてチーム対抗ゲーム大会を行い、大変盛り上がった。

日程	場所	里親	子ども	ボランティア	協会	計(人)
令和7年 1月12日(日)	神戸市立長田区文化センター 大会議室	35	35	10	5	85
グループぼんぼこ: 令和6年12月18日 リーダー打ち合わせ 令和7年1月7日 準備会						



お店の人にお話を聞きました



じゃんけん列車から始まり



グループ対抗のゲーム大会

グループぽんぽこの活動

中・高校生の里子、養子及び社会人のボランティアを中心とした「グループぽんぽこ」の活動は、久しぶりに夏のキャンプと新春初笑い大会で活動する機会があり、新しいメンバーも加わった。夏のキャンプ、新春初笑い大会ではゲームや司会の進行を担当し、それぞれの役割を果たし、成長した姿を見せてくれた。長い間活動を支えていただいたグループのシニアメンバーも歳を重ねてきたため、若いグループのメンバーを育成したい。



2日目夕方 アスレチックで



最終日 室内レクリエーション



帰りに堺市大型児童館へ

Ⅱ 季節里親・週末里親の促進事業 (NHK 歳末たすけあい受配事業)

(1) ボランティア里親の募集と説明会

季節里親・週末里親を募るための説明会を11月9日(土)に開催した。プログラムは養護児童の現状についてパワーポイントで説明、ボランティア里親の意味や役割について話した後、週末里親さんから自身の活動について話していただき、参加者との意見交換を行った。説明会の後、希望者には受付面接を行った。参加者25人。

日程	場所	参加者	その他	計(人)
令和6年 11月9日(土)	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	19	6	25




週末里親さんより、エピソードを聞きました



ボランティア里親についての説明

(2) 季節・週末里親の活動報告と交流会

ボランティア里親も年々増え、中・高校生との交流や、障害児施設の児童との交流も多くなってきたので、お互いの課題を共有し、より良い交流が継続できるよう、研修や情報交換の機会を今後も持っていきたい。23人参加。

日程	会場	参加者	施設他	計(人)
令和7年 3月8日(土) 13時半～16時半	神戸市立総合福祉センター 第1・2研修室	13	10	23
<p>・全体で自己紹介と活動紹介 ・グループで懇親会</p>  <p>グループごとに、日頃の交流について、情報交換をしました。</p>				

委託・交流中の児童の状況（神戸事務所）

季節里親

〈令和6年4月～令和7年3月〉

年齢別 人数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生以上 (15～)	合計
夏 季	2	10	13	22	18	65
冬 季	3	13	14	21	18	69

夏季には65名の児童が61家庭に、冬季には69名の児童が65家庭と交流を持つことができた。

週末里親

〈令和6年4月～令和7年3月〉

年齢別 人 数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生以上 (15～)	合計
人 数	3	7	11	15	11	47

今年度、47名の児童が43家庭の週末里親と交流があった。年齢の内訳は上記の通りである。

Ⅲ 子育て支援活動

（１）「子育てサポートグループぼちぼち」の活動

「スポチャンくらぶ」の開催

発達凸凹のあるこどもが参加できる運動&療育の機会として、親子スポーツチャンバラ教室「スポチャンくらぶ」を開催している。2ヶ月に1回開催の予定であるが、7月は猛暑日で中止。3月の開催は延期となり、4回の開催となった。

日 時	令和6年5月26日(日),9月29日(日),11月24日(日),令和7年2月2日(日)
場 所	神戸市障害者福祉センター 体育室
参加人数	4回 合計30人
タイトル	「スポチャンくらぶ」
講 師	横山 裕行氏 (Total Budo Gym 武道 松朗館 代表)



（２）子育て相談

配布している子育てサポートカードやHPを見て、子育てについての相談の電話がある。

発達障害のある子どもの進学、おとなになってからの療育手帳の取得や支援、親の介護と無職の成人などについての相談があった。

Ⅳ 第９回里親支援に関わる WORKER のための研修

今年度は青山学院大学の横堀昌子氏を講師に迎えて、ファミリーホームの実子としての立場から自身の経験と、それに基づく望ましい里親支援についてお話しいただいた。話の内容は具体的でわかりやすく、受講者に好評であった。

日程	会場	参加者	講師、協会	計(人)
令和 7 年 2 月 28 日(金) 10 時半～16 時半	神戸国際会館 大会議室	37	8	45
<p>講師：横堀昌子氏（青山学院大学コミュニティ人間学部教授） 講座名：横堀昌子氏を迎えて 午前「里親養育における子どもたちの育ちあいのために～実子としての体験から」 午後「望ましい里親支援とは ～今、考えておきたいこと」講義 グループに分かれて意見交換</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>横堀先生の熱いお話</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>各地から支援者が集まりました</p> </div> </div>				

Ⅴ 里親・養子縁組相談支援事業

兵庫県より補助金を受けて、里親や養子縁組を希望する人たちへの相談を受け、また予期しない妊娠でとまどっている人たちを支援するための事業を行った。協会への直接の相談の他、他団体からの紹介を受け、妊娠に関わる相談に応じ、また妊娠して育てられない場合は特別養子縁組のあっせんを行い、養子縁組後の支援を継続している。

Ⅵ 神戸市里親会事務局受託業務

令和 2 年 6 月より神戸市里親会の事務局を協会内に置き、非常勤職員 1 名が中心となり、協会も事務を行っている。コロナウイルスが第 5 類になったこともあり、コロナ前のように神戸市里親会相互の親睦・交流事業やレクリエーション、農業体験、バス旅行等の事業を実施した。

Ⅶ 「あかし里親センター」の活動

(1) 広報・啓発事業

① チラシ等配布

企業、団体、地域等への啓発 …企業 7社、団体 5ヶ所、市関係機関 120ヶ所
ユープこうべの戸配に上半期里親相談会チラシを同封（里親不在校区を中心に計5000部）

② 広報イベント

日程	場所	内容
8/23(金) 12/17(火)	ピオレ明石	里親パネル展示、チャリティーバザー、チラシの配布、里親クイズ

③ マクドナルド店舗でチラシ配布

時期：5月、10月、12月 配布枚数：計28,000枚

④ ボランティア里親入門講座

日 時	令和6年6月4日（木） 14：00～16：00	令和6年10月19日（土） 10：00～12：00
場 所	ウィズあかし	
参加者	9名	

⑤ ショートステイ里親説明会

日 時	令和6年5月31日（金）18:30～20:00 9月18日（水）14:00～16:00 令和7年1月18日（土）10:00～12:00
場 所	ウィズあかし（9/18は明石こどもセンター）
参加者	6名

(2) 相談事業

① 里親相談会（毎月1～2回開催）

日 程	5/20(月)、7/4(火)、7/20(土)、 9/4(水)、10/27(月)、 R7/1/27(月)	4/12(金)、7/3(水)、 8/15(木)、10/1(火) 12/18(水)、R7/2/20(木)	6/21(金)、11/8(金) R7/3/12(水)
時 間	10：00～12：00	14：00～16：00	18：30～20：00
場 所	明石こどもセンター（7/20、10/27：ウィズあかし）		ウィズあかし
参加者	34名（1/27日開催まで）		

② 相談受付

市民からの問い合わせ 39件

(3) 里親支援事業

① 里親制度推進イベント「いろんな家族があっていい」 ー明石市の里親と明石市民に向けたイベントー

テーマ	里親制度推進イベント「いろんな家族があっていい」
日 時	令和6年11月23日（土） 13：30～16:00
場 所	ウィズあかし
内容	・ドキュメンタリー作品の上映 ・里親からのお話「里親になって思ったこと」 関灘さん（里父） ・こんなふうになっている！里親制度－クイズで制度が早わかり！－
参加者	32人

② 里親家庭の訪問

明石市内の里親家庭訪問 6家庭 7回

(4) 里親関係機関との連携

明石地区里親会総会	5/19(日)
明石地区里親会理事会	4/21(日)、9/8(日)、R7/2/9(日)
明石市社会的養護部会	8/28(水)、11/21(木)、R7/2/6(木)
あかし里親推進連絡会議	7/31(水)、11/26(火)
里親認定式	10/1(火)、12/24(火)、R7/3/18(火)
里親支援連絡会	毎月第3火曜日に開催

VII 広 報 活 動

(1) こどもの日キャンペーン

5月5日子どもの日の神戸新聞朝刊1ページ県下版で47回目のキャンペーンを実施。今回は「かわいいな」そう思えたら充分なんだ、というキャッチコピーで読者が里親へのステップをもう一歩踏み出せるようなコピーとレイアウトを試み、カラーの水彩のイラストと文で表現した。この企画は今回も神戸新聞広告賞を受賞し、2月4日に表彰式が行われた。協賛企業・団体 30社

5月5日の
紙面



神戸新聞広告賞
授賞式

（２）愛の手運動の写真とパネル展、オレンジリボンキャンペーンの開催



令和6年12月12日～15日の4日間 JR神戸駅南の「デュオぎゃらリー」に於いて、第16回愛の手運動の写真とパネル展、チャリティーバザー、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーン等の啓発を行った。今回は夏のぽんぽこキャンプを写真等で展示し活動の様子を紹介した。事前に3000枚のチラシを近隣の地域にポスティングして広報を行った。



4日間の開催で、多くの方に来ていただきました

（３）第33回里親制度をすすめるためのお話

神戸市里親会と共催で下記のように開催した。今回は「家族になる」というテーマで養子として育ったT氏から講演の後、ケースワーカーから「家族になるとは」の話と、続いて「クイズで学ぼう、里親制度」で楽しく参加型の「里親クイズ」を行った。参加者63人。

日程	会場	参加者	講師・協会	計(人)
11月4日(月祝) 13時半～16時半	神戸市立婦人会館さくら	56	7	63
講師:T氏(養子として育った成人男性) 講座名:「里親と子どもの出会いの物語『家族になる』～里親・養子縁組という選択」 他 こども 4人、保育ボランティア 2人				
				
養子として育ったT氏の講演		楽しく学べる「里親クイズ」		

（４）里親出前講座

神戸市里親会と共に実施している「里親出前講座」を協会がコーディネートして、下記の大学等で行った。また、神戸市里親会主催の「里親出前講座」を3月15日(日)に神戸市長田区の文化ホールピフレ別館で開催した。今回は震災から30年であることから、当時子どもを迎えた養親と、7歳の時に里親家庭に迎えられた男性からそれぞれ当時の様子や告知、その後の暮らしについて語っていただいた。その後、相談コーナーで相談を受け付けた。会場参加者50人。

日程	場所	参加者(人)
10月2日	神戸市シルバーカレッジ	285
12月9日	四條畷学園大学	82

3月15日	神戸市里親会主催里親出前講座	50
	合計（人）	417

(5) 機関誌「育てる」No. 61 を大阪事務所と 3550 部を 7 月に発行。(共同募金配分金事業)

(6) 機関紙「はーもにー」を 7 月、12 月、令和 7 年 3 月にそれぞれ 2900 部発行。

表紙絵を神戸市在住の画家、もふ亀太郎氏に依頼。3 月発行号は震災 30 年の特別号として 30 年前の 3 月に発刊した「はーもにー」の復刻版を加えて発行した。

(7) 「里親・養子制度をすすめるために～活動のしおり」を 2000 部増刷。

IX 講師等としての講義・講演など

R6/6/22	兵庫県映画センターとの啓発映画と講演のコラボ（橋本） 上映作品「夕陽のあと」
7/7	岡山市里親登録前研修講師（米沢）
7/8	尼崎市児童相談所設置準備室職員の視察受入と研修講師（米沢）
7/13	早稲田大学研究会・オンライン（村山）
9/28	徳島県未委託里親トレーニング「ライフストーリーワーク」講師（米沢）
10/2	神戸市シルバーカレッジで講師（橋本）
10/21	神戸市児童養護施設連盟職員新任研修講師（橋本）
10/27	岡山県里親登録前研修講師（米沢）
11/17	はんしん自立の家研修会講師（橋本）
12/9	四条畷学園大学看護学部にて講義（橋本）
R7/1/25	エンゼル保育園にて講義（橋本）
3/2	滋賀県「真実告知研修会」にて講義（米沢）
3/3	小さないのちのドア 妊産婦ホストファミリー研修会にて講義（米沢）

X 職員のための研修

次のような研修会に参加し、職員のための研修を行った。

5/11	エレパニ特養行政手続きマニュアル意見交換会（米沢・村山）
5/11	IFCA「トラウマインフォームドケア講座」（多田）
5/17	全国里親会所長会議・オンライン（橋本）
6/18	こども家庭庁「養子縁組あっせん機関との意見交換会」（米沢・村山）
6/30	近畿地区里親研修会（滋賀）（米沢・村山・木沢）
9/8	こども家庭庁「養子縁組民間あっせん機関責任者研修」オンライン（村山）
9/10	兵庫県里親会連合会リーダー研修室（米沢・木沢）
10/12, 13	全国里親大会福井大会（村山）
10/16	こども家庭庁「養子縁組あっせん機関等交流促進研修」（大阪）（村山）
11/28	大阪事務所主催 全国児童相談所里親担当者連絡会
R7/2/6	神戸市里親支援機関連絡会・里親支援者研修（橋本・米沢・村山・佐藤）
2/15	特別養子縁組当事者による全国フォーラム（米沢・村山）
2/18	こども家庭庁「養子縁組民間あっせん機関職員研修」（大阪）（米沢）
2/17	市民福祉セミナー「岸田ひろ実講演会」（佐藤）
3/20	豊岡短期大学公開シンポジウム・映画会「こども家庭フォーラム」（木沢）

XI 関係機関との連携

神戸市里親支援機関連絡会（村山）	毎月開催
兵庫県フォスタリング機関検討会（橋本・米沢）	9/2(川西)、11/5(姫路)、11/28(中央)
兵庫県里親会連合会役員会（橋本）	6/27、9/10、R7/3/6
神戸市社会的養育推進会議（橋本）	5/24、7/4、8/1、9/27、10/25
神戸市里親委託推進検討会（米沢）	6/21、7/23、9/11、11/8

XII 生活資金・奨学資金貸付事業

今年度は、1名への貸付を行い、1名から返済があった。

XIII 活動資金を募るための活動

今年度も活動資金を募るために他団体主催のバザーに出店した。12月の協会主催のチャリティーバザーは来場者も多く、売り上げも多かった。



神戸まつりバザー出店



デュオぎゃらりー

5/5	神戸新聞紙上で第46回目の愛の手企画キャンペーンを実施。 (名刺広告1枠44,000円で30社が協賛)	
6/8	神戸まつりの湊川公園「はっぴいひろば」バザー	62,360円
8/23	ピオレ明石パネル展とチャリティーバザー	82,919円
10/6	健康・福祉フェアバザー（神戸市北区しあわせの村）	28,500円
12/12～15	愛の手パネル展とチャリティーバザー（デュオぎゃらりー）	853,430円
12/17	ピオレ明石パネル展とチャリティーバザー	56,760円
R7/3/2	神戸市重度心身障害児（者）父母の会バザー	48,640円
R6/4/1～	福祉センターミニバザー	70,850円
R7/3/31	バザー協賛金	30,000円

- ・有馬向陽閣、銀水荘別館兆楽、大黒屋、シャレオ、ホテルクレール日笠からはチャリティーボックスの寄付を、またエンゼル保育園からはバザーカンパや職員・保護者から寄付を、毎年協会に寄せていただいている。
- ・ダイエー三宮店「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録し、レシート総額の1%、10,161円を寄贈いただき、里親サロン等で子ども用の菓子を購入した。
- ・国際ソロプチミスト神戸、神戸西ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、兵遊協 福祉基金、（公財）井植記念会、神戸ロータリークラブ、神戸兵庫シティライオンズクラブ、東洋財団等の団体から、また多くの個人からも活動のための支援をいただいた。

XIV そ の 他

- (1) オリックスバファローズ野球観戦チケット（ほっともっとフィールド・京セラドーム）を神戸市と神戸市社会福祉協議会善意銀行を通じていただいた。
- (2) 神戸市から委託を受け、「神戸市里親・ファミリーホーム交流会」を2月1日（土）にオリエンタルホテル神戸で開催し、希望者は水族館「アトア」へ散策した。
- (3) USJ（ユニバーサルスタジオジャパン）へ8月7日、8日に兵庫県・神戸市・明石市の里親家庭に、東洋財団より招待をしていただいた。
- (4) 「ディズニーオンアイス」（ワールド記念ホール）8月30日に3部に分かれて、神戸市社会福祉協議会を通じて里親家庭を招待していただいた。
- (5) やまぶき財団より助成金をいただき、高速インクジェットプリンター「オルフィス」を購入した。

(3) J Bクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回（10:30～15:00）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加してくれている。養親同士で親しく会話を交わす様子がみられ、J Bクラブ以外の場でも繋がりを持つようになっている。27年度に大阪府養子親支援機関となったため、愛の手を通じて子どもを迎えた家庭に加え、大阪府内の養親家庭にも参加を呼びかけている。また、大阪市や他団体からの養親家庭にも、希望があれば案内を送付している。

5月、9月、2月は遠足に行き、12月はクリスマス会、3月は修了式を開催した。11回開催し、参加者は、のべ74家庭。遠足やクリスマス会への参加人数が多かった。

【児童相談所里親担当者連絡会の開催】

大阪府・大阪市・堺市の子どもを委託したことのある児童相談所を中心に広く呼びかけての里親担当者連絡会は、今年で36回目となった。2日間の日程で、1日目を下記の通りの話題提供をもとに情報交換をし、2日目を学習会とした。1日目終了後に、自由参加の交流会を設け、各所で自由に情報交換等を行うことができ、好評であった。

日 時	11月28日（木） 13時30分～17時30分 11月29日（金） 9時30分～12時00分
場 所	大阪市立社会福祉センター
内 容	1日目：研修会「特別養子縁組適格の審判における児童相談所長申立てケースについて」 話題提供者 大阪市南部こども相談センター 川東典子氏 情報交換 特別養子縁組・里親委託に関する情報交換 交流会 2日目：学習会「社会的養護におけるあいまいな喪失～我が子を育てて感じること」 話題提供者 龍谷大学短期大学部社会福祉学科教授 黒川雅代子氏
参加児相	埼玉県越谷、草加／さいたま市南部／千葉県中央／東京都世田谷区／横浜市南部、北部／長野県飯田／岐阜県中央／浜松市／愛知県中央、西三河、東三河、春日井／名古屋市中央／三重県伊賀／滋賀県中央、彦根、大津・高島／京都府家庭支援総合、宇治、宇治京田辺支所、福知山／京都市／兵庫県尼崎、西宮、川西、加東、姫路、豊岡／神戸市／奈良県中央、高田／奈良市／和歌山子ども・女性・障害者／岡山県倉敷／岡山市／広島県東部、北部／広島市／徳島県中央／香川県子ども女性／高知県中央／大分県中央／大阪府中央、箕面、吹田、東大阪、貝塚／堺市／大阪市中央、北部、南部 51児相のべ119名（実71名）参加

Ⅱ．里親制度に関する広報活動

【情報紙・年刊誌の発行】

(1) 情報紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会NHK歳末助け合い助成金をいただき、継続して発行できている。毎月3,300部を印刷し、約3,100部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No. 61を大阪・神戸事務所あわせて3,300部発行。大阪事務所では会員、里親、関係機関等に1,700部送付した。

【一般向けチラシ等の作成】

協会のリーフレットと大阪府週末里親のチラシを各2,000部増刷した。また、一筆箋500部、クリアファイル1500部、広告入りティッシュ500個を作成した。大阪マラソンEXPOやH2Oサンタなどの広報活動や医療機関での説明会など幅広い場面で配布した。

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。

児童福祉月間である5月16日、里親月間である10月10日に、大阪市北区にあるHEPナビオ前で実施した。協会活動の趣意書をつけた玩具を大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーとともに通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の購入および、チラシ付けも大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーがおこなってくださった。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」として活動、協会が事務局となって活動をおこなってきた。大阪市里親施策推進プロジェクト会議の解消により、平成30年度末をもってその一環としての活動は終えた。それ以降、自主的な市民ボランティア団体としての「里親いろいろ応援団」の活動となり、縁活とイエローレシートキャンペーンは継続して団員がおこなっている。

毎月11日	イオンモール鶴見緑地にて、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加。買い物客がレジ精算時に受け取った黄色レシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、購入金額合計の1%が希望する品物（イオンギフトカード）で寄贈される仕組みである。令和5年度の132,600円の寄贈を令和6年4月に受領し、おもちゃや応援団イベント活動のための備品などを購入した。
12月1日（日）	あべのハルカス近鉄本店 縁活プロジェクト「里親ってなあに？」クリスマスカード作り、リコーダーコンサート、里親制度説明

【H2Oサンタ関連】

阪急・阪神百貨店を中心とした、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体である、H2Oサンタの協力により、広報活動をおこなっている。チャリティートークイベントが毎週土曜日に開催されており、8月24日に招かれ、団体紹介とリコーダーミニコンサートをおこなった。

また、2月22～24日の3日間、阪急百貨店うめだ本店9階で開催されたNPOフェスティバルでブース出展し、リーフレットなどを挟んだクリアファイルを合わせて約500部配布した。ブースに職員が常駐し、里親制度に関心のある人が相談に立ち寄られることもあった。また2日間は、トークイベントとリコーダーミニコンサートをおこない、来店客に関心を持っていただくことができた。

【60周年記念事業 『愛の手』記者と語り合う「これまでとこれから」】

昭和39年5月5日に大阪における「あなたの愛の手を」運動が始まり、60周年を迎えた。また、毎日新聞「あなたの愛の手を」は9月1日に3000回を迎えた。大阪事務所60周年を記念して、8月31日に記念事業を開催する予定だったが、台風接近により延期とし、11月30日に開催した。過去に『愛の手』を担当した毎日新聞の記者に登壇いただき、『愛の手』について語り合った。当日は83名の参加があった。

第1部 講演「一枚の写真の力」 毎日新聞北海道報道部写真グループ専門記者 貝塚太一氏

第2部 座談会 歴代『愛の手』記者（斉藤貞三郎氏、藤田文亮氏、貝塚太一氏、青木絵美氏）

日時：11月30日（土）13:30～16:30

場所：東大阪市リージョンセンター 夢広場多目的ホール

【毎日新聞その他による報道記事】

- R6. 4.12 「愛の手運動 歌で後押し」（毎日）
5.17 「里親制度理解を 街頭で啓発活動」（毎日）
9. 2 「あなたの愛の手を 3000回 これからも絆結ぶ」（毎日）
10.11 「『里親制度を知って』愛の手街頭キャンペーン」（毎日）
11.30 「親子むすび『あなたの愛の手を』3000回① 養子縁組 選択のひとつ」（毎日）
12. 1 「『愛の手』は続く 連載3000回記念シンポ」（毎日）

- 12. 16 「支局長からの手紙『サンタの本懐』」(毎日・滋賀版)
- 12. 17 「親子むすび『あなたの愛の手を』3000回② 2組の親へ 感謝届けば」(毎日)
- R7. 1. 13 「親子むすび『あなたの愛の手を』3000回③ 出会い 立ち会う喜び」(毎日)
- 2. 5 「養子縁組 もっと身近に」(毎日)
- 2. 17 「養親の『生の声』届け 東成でイベント」(毎日)

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- R6. 9. 26 横浜市里親支援向上研修(岩崎)
- 9. 30 愛知県里親会研修(岩崎)
- 10. 6 愛知県主催里親フェスタ子どもたちの未来のためにできること(於:イオンモール岡崎)
(山上・和田)
- 10. 25 大阪市児童福祉施設連盟里親支援委員会研修「養子縁組について～里親支援専門相談員が持つべき視点～」(山上)
- 10. 26 ネットワーク型市民セミナー「新しい家族のカタチ 里親、はじめてみませんか」(和田)
- 11. 16 長野県くるみの会の会合(岩崎)
- 12. 12 大阪府北部コミュニティカレッジ(岩崎)
- R7. 1. 24 大阪市児童福祉施設連盟里親支援委員会研修「週末里親について～里親支援専門相談員が持つべき視点～」(藤目・山上)
- 1. 26 山口県令和6年度乳幼児養育里親育成研修特別講義「里親委託後の課題～試し行動と真実告知～」(山上)
- 1. 28 処遇困難事例検討会(於:大阪水上隣保館乳児院)(山上)
- 2. 8 おおさか性と健康の相談センター主催「親になりたいを叶えるもう一つの選択『養子・里親』について考える」(山上)
- 2. 9 令和6年徳島里親会・里親交流合同学習会(岩崎)
- 2. 10 大阪市北部里親支援機関かなーち主催里親パネル展と相談会に合わせたランチタイムコンサートでリコーダー演奏(山上・和田)

【その他協会の紹介をしていただいた】

- R6. 5. 17 インターネットラジオゆめのたね放送局『本と絵本とおはなしと。』で協会出版の絵本『ふたりのおかあさんからあなたへのおくりもの』を紹介、朗読された。7月19日にも放送の振り返りと協会活動を紹介された。
- R6. 6. 27 音声プラットフォームVoicy『貝塚太一のなんなんラジオ』

Ⅲ. 活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

昨年と同様、露店出店が中止となったため、神社参道に会社のある株式会社丸大さんの敷地で、福飴売りと広報活動をおこなった。昨年は早々に完売したため、今年は仕入れを増やしたが、3日目の夕方には完売することができた。18名のボランティアさんにご協力いただき、売上は昨年の2倍近くとなった。

売上げ 954,600円

寄付 69,533円

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- R6. 5. 16 全国里親会70周年記念式典に参加(於:東京)(岩崎)
- 6. 18 養子縁組民間あっせん機関との意見交換会(オンライン)(山上)
- 6. 25・7. 2 労務管理者研修(和田)

- 6. 30 近畿地区里親研修会（和田・中合）
- 8. 1 第 21 回食育情報交換会（岩崎）
- 9. 8 養子縁組民間あっせん機関責任者研修（オンライン）（山上）
- 10. 6 大阪市里親会研修 シンポジウム「里子の気持ちと里親の気持ち」（田邊）
- 10. 12-13 全国里親大会ふくい大会（岩崎・山上・中島・和田）
- 10. 15 令和 6 年度養子縁組あっせん機関等交流促進研修（山上）
- 10. 16 令和 6 年度養子縁組あっせん機関等交流促進研修（中島）
- 11. 9 家族と法学会（@日本大学）に出席（岩崎）
- 11. 17 善光寺大本願乳児院の施設見学（岩崎）
- R7. 2. 18 令和 6 年度養子縁組民間あっせん機関職員研修（田邊・中合）

V. ホームページ関連

平成 11 年 3 月 18 日に大阪事務所のホームページを開設、令和 2 年に新しいホームページが完成した。イベントの告知や Facebook の情報もトップページに表示している。<https://ainote-osaka.com>

平成 24 年 10 月に開設した Facebook のフォロワー数は約 1200。愛の手記事へのリンク、日々の活動についての報告、イベント開催などの告知などを行っている。

<https://www.facebook.com/ainote.osaka>

令和 2 年 8 月に開設した X (旧 Twitter) のフォロワー数は 800 を超え、愛の手の記事のリポストなどにも協力いただいている。https://twitter.com/ainote_osaka

令和 5 年 1 月に Instagram のアカウントも開設した。フォロワー数は 300 を超えた。

https://www.instagram.com/ainote_osaka/

ホームページを通じての今年度の書籍購入は 64 件 126 冊。会員入会は 0 件であった。メール相談については、以下のとおり。地域を問わず、40、50 代以上からの養子縁組希望の問い合わせが多かった。開設からの累積受付件数は 1,806 件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が 9 件、週末里親希望者が 1 件、その他 1 件で、養子縁組希望者の来所率は 2 割を超えている。

【地域別】		【相談者の年齢】		【相談内容】	
大阪府下	19	10代	1	養子を育てたい	34
近畿圏内	9	20代	2	里親一般について知りたい	0
近畿圏外	13	30代	9	縁組・入籍等の手続きが知りたい	0
海外	0	40代以上	22	週末里親について知りたい、やりたい	7
不明	6	不明	13	国際養子について知りたい	0
合計	47	合計	47	養子になりたい、里親を探してほしい	0
				養育相談	1
				その他	5
				合計	47

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

相談の現状については以下のとおり。

「縁組後のアフターケア」は、縁組後の養親から養育上の悩みの相談や、養子からのルーツ探しについての相談があった。「その他」には他県の役所や児童相談所、関係機関からの養子縁組の手続き的な相談や事業運営にまつわる相談があった。

相談内容	件数	電話	来所・訪問	来所・訪問以外	オンライン	備考
養護相談	6	6	0	0	0	子どもを養子に出したい等
養育相談	1	1	0	0	0	子どもの対応について
縁組後のアフターケア	42	25	13	1	3	養育上の悩み、思春期、ルーツ等
継続相談	1	0	1	0	0	
その他	18	18	0	0	0	機関から制度や手続き、里親支援への相談など
合 計	68	50	14	1	3	

【APCC（思春期妊娠危機センター）】

相談件数はかなり減少傾向にある。（相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10：00～17：00）

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,709 件

本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	4	性病	0
人間関係の悩み	0	近親姦	0
自分の身体の悩み	1	How to Sex	0
マスターベーション	4	養子縁組	0
避妊法について	0	その他	1
同性愛	0	合 計	10

Ⅶ. 「ふれあいの家」活動

遠方に住む里親希望者が、対象児童の養育実習のために大阪に滞在する際の宿泊拠点として、1 日 1,000 円の負担（時季により冷暖房費加算有り）で利用してもらっている。東京都の里親が 5 カ月弱利用した。

Ⅷ. 大阪市里親制度普及促進事業

大阪市より「愛の手運動」にまつわる部分の事業について、指定事業者として受託している。事業は愛の手運動による里親開拓、養親希望者への研修、委託里親家庭等への訪問指導・交流支援、全国の児童相談所里親担当者連絡会の企画などが含まれる。

・委員として以下の会議に出席した

R6.8.19 令和 6 年度第 1 回大阪市里親委託等推進委員会出席（岩崎）

R7.2.21 令和 6 年度第 2 回大阪市里親委託等推進委員会出席（岩崎）

・登録前研修（養親講座）を 6 月に 5 組、9 月に 7 組、12 月に 9 組、3 月に 7 組、合計でのべ 28 組（実数 25 組）大阪市在住者が受講した。

Ⅸ. 大阪府里親支援機関業務

平成 20 年から大阪府の里親支援機関として里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業、養子親の支援と週末里親事業を業務委託されている。事業内容としては、以下のとおりである。

【養子親支援機関事業】

(1) 養子親の普及啓発に係る業務

① 2024 年度特別養子縁組啓発プログラム「腸活と養活のススメ」

R7. 2. 16 (日) 13:30~16:30 コミ協ひがしなり区民センター 大ホール (参加: 73 名)

第 1 部 広口みどりさんに教えてもらおう 腸活って？

第 2 部 養親の話を聞こう

第 1 部は、広い年代で関心が高いと思われる腸活について、広口みどりさんに講演していただいた。腸内環境を整えるコツや簡単な体操も教わった。第 2 部は、第 1 部の講師の広口さんも参加し、協会職員を進行役としながら、養親 5 人とともに子育て談義をしていただいた。現在小学生から中学生になっている子育て中の方たちに、それぞれの子育てについての話を聞いた。参加者に養子縁組家族の存在を知り、理解を深める機会になったと好評だった。

広報のため、イベントのチラシを 25000 枚作成し、飴売りや里親支援機関や児童相談所等の関係機関、図書館や保健所などの公共施設、学習センターやスポーツセンターなど合計 600 ヶ所以上に配布した。

②R7. 2. 8 おおさか性と健康の相談センター主催「親になりたいを叶えるもう一つの選択『養子・里親』を考える」講師 (山上)

3. 3 梅田ファティリティークリニック職員研修講師 (田邊)

③大阪マラソン EXP02025 にてティッシュ 400 個、クリアファイル 300 部を配布した。

④情報誌等への広告掲載

新聞折り込みタウン紙「ウーマンライフ」

<里親広告> 東大阪版(10 月 11 日) 各 10 万部

<特別養子縁組啓発プログラム広告>河内版(1 月 16 日)、八尾版(1 月 24 日) 各 10 万部

(2) 養子親認定の手続き

・認定希望者の問い合わせ対応や、ガイダンスを協会で担当した。

問い合わせ対応 32 件

ガイダンスの実施 16 件 (うち 12 件が年度内に登録手続き開始)

府内在住でもガイダンスではなく情報収集を希望した面接 3 件

(3) 研修の実施

・登録前研修(養親講座) 6 月(8 組)、9 月(5 組)、12 月(1 組)、3 月(2 組)

(合計 のべ 16 組 実数 14 組)

・登録前研修(追加分・「子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当」) 6 月(9 組) 12 月(5 組)

・施設実習 12 組

・更新研修(養親ゼミナールの日にあわせて) 7 月(2 組)、10 月(1 組)

・里親勉強会(同上) 7 月(5 組)、10 月(2 組)、3 月(2 組)、

(4) 要保護児童の委託先検討

・随時

(5) 子ども家庭センター等との連絡調整

・連絡会 毎月 1 回

・推進連絡会 10. 17 「特別養子縁組里親の支援について」(山上・中島)

(6) 里親家庭及び委託児童への支援

・初回面会后、実習中は施設への訪問や外出や外泊時の家庭訪問、また委託後は電話やメールでの相談対応、また家庭訪問を随時実施

(7) 里親委託等推進委員会調整委員会・里親委託等推進合同連絡会への委員派遣

- R6. 7. 10 令和6年度第1回大阪府里親委託等推進合同連絡会出席（中島）
10. 17 大阪府里親推進連絡会「特別養子縁組里親の支援について」（山上・中島）
R7. 2. 10 里親委託等推進調整委員会へ出席（岩崎・田邊）

【週末里親事業】

今年度は17組の週末里親子のマッチングが成立しており、施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場である。施設退所や不調で登録解除になったケースもあるが、新規登録もあり、昨年度とそれほど変わらない活動実績になっている。週末里親制度のチラシを2,000部増刷している。

- (1) 活動実績 35施設 児童139名 里親126組（うち、はぐくみホーム10組）
延べ回数 994回 延べ日数 1623日（※2泊3日事業の活動含む）

(2) 2泊3日里親事業

長期休暇中、家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施している。

	候補児童	マッチング数	うち週末里親へ移行
夏季	7名（6組）	6組	1組
冬季	8名（7組）	6組	1組

(3) 令和5年度新規週末里親子

協会マッチングケース 9組 児童数10名
愛の手マッチングケース 7組 児童数7名
施設内マッチングケース 1組 児童数1名

(4) 大阪府週末里親懇談会

R7. 2. 15（土）13:00～16:00 大阪市立社会福祉センター
（参加：週末里親22組29名 里親支援専門相談員5名）

(5) 週末里親研修会

週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらい、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことを目的として実施。

R6. 9. 7（日）13:00～17:00 生駒学園 （参加：19組30名）

- ・「社会的養護が必要な子どもの理解」「週末里親と関わりのある子どもについて」

講師：古長弘美氏 児童養護施設生駒学園 里親支援専門相談員

- ・施設見学
- ・週末里親体験談（3組）

(6) 週末里親子交流事業

R6. 11. 24（日）大阪府週末里親子交流会〔参加：13組（子ども15名、週末里親21名）〕。

大阪ガスショールーム「ハグミュージアム」にて、週末里親子の交流会を実施。前半は週末里親子の調理体験、後半は里親同士の茶話会及び子ども同士のレクリエーションを行い、2部構成で開催した。

X. 生活資金・奨学資金貸付制度

愛の手運動を通して里親（養親を含む）に委託された子どものうち、委託解除後に、自立した生活に向けて就労の準備をしている者及び就労中の者、また、高等学校卒業後に専門学校や短期大学、大学等への進学を希望するが必要な学資を他からうけることが困難であると認められる者に対して、生活支援

資金や教育支援資金を貸付ける。

令和3年度に性別適合手術をする養子への手術費用50万円を貸し付けた。令和4年に離職をし、返済額を下げていたが、5年度に再就職できたため返済額を上げ、順調に返済されている。

X I . その他の活動

◆新聞社他からの取材に対応した。

- R6. 5. 30 毎日新聞社会部中塚デスク、峰本記者、安田記者が「愛の手」記事3000回掲載にむけてうちあわせ
7. 16 毎日新聞大坪記者が「愛の手」記事3000回掲載に関する特集記事（以下3000回）の取材
7. 18 毎日新聞井手記者が3000回取材
8. 2 毎日新聞大坪記者が3000回取材
8. 5 毎日新聞大坪記者が3000回取材
8. 8 毎日新聞井手記者が3000回取材
8. 28 毎日新聞安田記者が3000回取材
10. 22 読売新聞高倉記者
- R7. 1. 25 読売新聞高倉記者による養子のTさんへのインタビューに立ち合い（岩崎）
3. 15 読売新聞高倉記者によるインタビュー（山上）
3. 15 読売新聞高倉記者によるインタビュー（岩崎）

◆各種研究のための取材、調査に対応した。

- R6. 6. 12 児童虐待防止協会の川上氏、塚村氏、木村氏が動画作成にあたって意見聴取
10. 4 筑波大学院生加藤さんが修士論文の情報収集
10. 23 京都文教大学大学院生新田さんが修士論文の情報収集

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

- R6. 5. 7 金城学院高校3年生谷さん（オンラインインタビュー）
5. 9 社会福祉法人賛育会赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト大江事務局長、秋田氏が意見聴取
6. 3 近畿大学1回生林さん
7. 23 山形県議会厚生環境常任委員会の現地調査「児童相談所等の公的機関と連携した里親委託推進の取組みについて」（議員7名、事務局2名、随員職員2名）
9. 6 善光寺大本願乳児院フォスタリング機関（長野県）上石氏、清水氏
9. 28 元朝日新聞記者後藤氏
12. 13 W I T H里親の若林氏他2名

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいたり、社内で募金活動を行ってくださったりした。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

- *H2Oサンタ関連（181,100円）
- *シスコシステムズ（118,205円）
- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会（63,000円）
- *大阪さくらライオンズクラブ（50,000円）
- *第一工芸株式会社（34,893円）
- *株式会社東和総合サービス 大阪本社（11,094円）東京本社（21,796円）
- *懐メロ保存会リベリカ本店 梶川幸子（10,000円）

◆株式会社ファンケルの従業員が運営する「もっと何かできるはず基金」より、従業員の方から協会に寄付をしたいとの申請があり、請求された資料等を提出した。運営委員会で審議されたところ、申請した「もっと何かできるはず基金」からの15万円、マッチングギフトとして株式会社ファンケルから

の 15 万円の計 30 万円の寄付が決定された。申請した里親子の交流と支援を目的とした事業である「JBクラブ」と「おやこDEうんどう会」の運営費等に活用した。

◆月 1 回、府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。

◆文部科学省科学研究費が認められた兵庫県立大学古川恵美教授の「発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレント・トレーニングの開発」研究に協力した。今年度は長野県T宅（R6.6.6）、長野県H宅（R7.1.17）にオンラインによるフォローアップをおこなった。

◆京都大学医学部研究科研究員市川氏の「不妊治療中・不妊治療を経験された方の里親、特別養子縁組に関する認知度及びニーズ調査」について協力、「不妊治療中の方への情報提供方法」研究について、医療機関へ説明会に同行した。

R6. 5. 27 不妊治療をおこなう医療機関との連携についてうちあわせ（オンライン）

9. 27 市川氏が研究の件でうちあわせ

11. 24 「不妊治療中の方への情報提供方法」の研究の一環として、医療機関の勉強会で紹介する当事者インタビューの動画撮影の立ち合い（山上・中島）

2. 5 医療機関勉強会のうちあわせ（オンライン）

2. 17 大阪急性期・総合医療センター（大阪市）説明会（中島）

2. 25 KAWA レディースクリニック（堺市）説明会（中合）

3. 11 谷口病院（泉佐野市）説明会（和田）

◆R6.6.14 内閣府監査

◆R6.9.12 養子縁組民間あっせん機関第三者評価を受審、ホームページに結果を公表した。

◆R7 年度から豊中市が児童相談所を開設するにあたって、大阪府と同様の事業委託を受けるためのうちあわせをおこなった。

◆R6.11.29 J AMM I N10 周年イベントに参加（山上・和田）